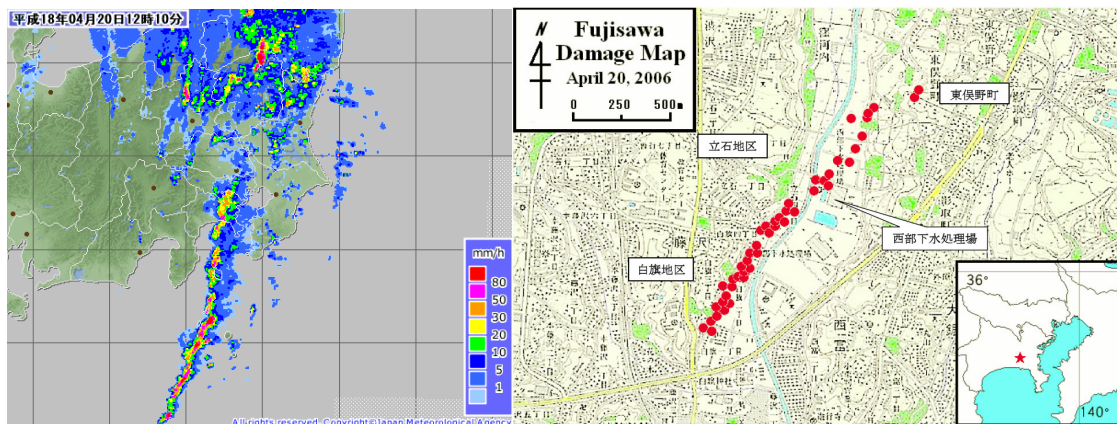


## 2006年4月20日、神奈川県藤沢市における突風被害

小林文明 菅原祐也 今井真希(防衛大学校)  
松井正宏, 田村幸雄, 吉田昭仁(東京工芸大学)

2006年4月20日 12時頃 神奈川県藤沢市で突風による被害が発生した。

4月20日は11時頃より東京から三宅島南50kmまで伸びる積乱雲を伴った長い低気圧前線が神奈川県を西から東へと通過しつつあった。この積乱雲が藤沢を12時頃通過したのに伴い、突風が発生し、40件以上の住家や農業施設等に被害が発生した。図に被害発生地点を示す。被害は直線状に約2kmの長さにおよび、その幅は50m程度であった。



被害発生地域では風速観測記録は得られなかった。被害地点から南東に約2km離れた藤沢市消防本部では、最大瞬間風速24m/s、平均風速7.5m/sの記録が得られているが、これらは今回の突風を直接捉えた物ではないと考えられる。

現地の聞き取り調査では、集中的な降雨の直後に強い風が吹いたとのことである。また、被害地域内にある古紙集積工場から紙が上空へ舞い上がったとの証言もある。

被害地域は、住宅が密に建設されている。被害は、住宅の屋根瓦の飛散、屋根全体の損傷、ベランダ庇の飛散、外壁の損傷等が主であった。また、畑には園芸作物の温室等の農業施設が設けられており、温室ガラスの破損、温室の柱が基礎ごと持ちあげられたものもあった。運動場倉庫の金属屋根葺材の一部が剥がれ、約100m程度北北東に飛散しているものもある。

被害状況から主要な風向は南南西からと判断されるが、瓦の飛散状況、物置小屋の転倒方向等は、必ずしもこれに従わず、多方向からの風による被害が見られた。



住宅の南西側壁面外壁の損傷



東側ベランダ庇の損傷（手前）北東方向へ飛散した。



簡易物置の転倒（南西方向へ転倒）



ビニルハウスの損傷と自動車への土埃の付着



温室(ガラス張り)の被害, 手前の鉄製の井戸の蓋が飛散した。



運動場倉庫の庇の損傷と北北東へ 100m 程度飛散した葺材